



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 日本電子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6951 URL <https://www.jeol.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 大井 泉  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略室長 (氏名) 塩田 将司 TEL 042(543)1111  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	51,112	9.4	1,467	49.8	2,013	13.3	1,229	11.0
2019年3月期第2四半期	46,722	14.8	979		1,777		1,381	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,048百万円 (29.9%) 2019年3月期第2四半期 1,494百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	25.45	
2019年3月期第2四半期	28.59	

当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	122,489	42,062	34.3	870.61
2019年3月期	122,665	41,593	33.9	860.90

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 42,062百万円 2019年3月期 41,593百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		4.50		12.00	
2020年3月期		12.00			
2020年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2019年3月期の1株当たり年間配当額は21円となります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,000	6.9	7,100	6.4	7,500	0.8	5,000	15.8	103.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	48,857,800 株	2019年3月期	48,857,800 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	544,240 株	2019年3月期	544,134 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	48,313,651 株	2019年3月期2Q	48,313,913 株

当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社の取り巻く経済環境、市場の動向、為替レートの変動など、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料および四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年11月29日(金)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。第2四半期決算補足説明資料は、第2四半期決算説明会開催日後に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、米中貿易摩擦の長期化に伴う世界経済全体の低迷により製造業を中心に依然として不透明な状況となっています。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画「Triangle Plan 2022」(2019年度～2021年度)に掲げる重点戦略を強力に推進し、当中期経営計画期間のみならずそれ以降の更なる成長に向けた次の打ち手を実行することにより企業価値の向上および経営基盤の強化を図りつつ、受注・売上の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は51,112百万円(前年同期比9.4%増)となりました。損益面におきましては、営業利益は1,467百万円(前年同期比49.8%増)、経常利益は2,013百万円(前年同期比13.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,229百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 理科学・計測機器事業

電子顕微鏡を中心とした引合いが好調に推移し、売上高は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は31,690百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

#### ② 産業機器事業

電子ビーム描画装置を中心とした受注が堅調に推移し、売上高についても好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は11,155百万円(前年同期比51.4%増)となりました。

#### ③ 医用機器事業

国内市場における生化学自動分析装置を中心とした引合い、売上高共に堅調に推移しました。

一方、海外市場においては受注・売上が低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は8,266百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から176百万円減少し122,489百万円となりました。主なものとしては、現金及び預金が724百万円、受取手形及び売掛金が6,650百万円減少し、たな卸資産が6,696百万円増加しております。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から645百万円減少し80,427百万円となりました。主なものとしては、電子記録債務が1,389百万円、前受金が589百万円増加し、支払手形及び買掛金が1,843百万円、短期借入金が3,149百万円減少しております。

一方、当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金の増加に伴い42,062百万円となりました。以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末から0.4ポイント増加し34.3%となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、8,570百万円となり、前連結会計年度末より691百万円減少しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は2,963百万円(前年同期は3,229百万円の資金の増加)となりました。これは主にたな卸資産の増加があったものの、売上債権の減少等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は1,134百万円(前年同期は653百万円の資金の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は2,168百万円(前年同期は3,127百万円の資金の減少)となりました。これは主に借入金の減少による支出等および配当金の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表しました業績予想に変更はございません。

なお、当社の売上・利益は第4四半期に集中する傾向があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,296	8,571
受取手形及び売掛金	32,361	25,711
商品及び製品	11,055	13,656
仕掛品	35,052	38,931
原材料及び貯蔵品	2,467	2,684
その他	3,528	2,857
貸倒引当金	△517	△222
流動資産合計	93,245	92,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,999	5,962
機械装置及び運搬具(純額)	1,060	1,127
工具、器具及び備品(純額)	3,893	3,932
土地	1,802	1,765
リース資産(純額)	301	702
建設仮勘定	141	127
有形固定資産合計	13,198	13,617
無形固定資産		
のれん	1,756	1,572
その他	491	633
無形固定資産合計	2,248	2,205
投資その他の資産		
投資有価証券	8,306	9,058
その他	5,639	5,398
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	13,938	14,448
固定資産合計	29,384	30,271
繰延資産	35	26
資産合計	122,665	122,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,359	12,516
電子記録債務	9,582	10,971
短期借入金	10,059	6,910
1年内償還予定の社債	448	1,886
未払法人税等	1,182	638
前受金	11,942	12,532
賞与引当金	1,598	1,400
その他	10,905	11,587
流動負債合計	60,078	58,443
固定負債		
社債	5,012	3,319
長期借入金	5,383	7,393
役員退職慰労引当金	38	28
役員株式給付引当金	95	163
退職給付に係る負債	9,590	9,402
資産除去債務	320	320
その他	553	1,356
固定負債合計	20,994	21,984
負債合計	81,072	80,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,037	10,037
資本剰余金	9,914	9,914
利益剰余金	22,899	23,544
自己株式	△1,068	△1,068
株主資本合計	41,783	42,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,743	2,775
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	△1,574	△1,975
退職給付に係る調整累計額	△1,361	△1,166
その他の包括利益累計額合計	△190	△365
純資産合計	41,593	42,062
負債純資産合計	122,665	122,489

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	46,722	51,112
売上原価	28,376	31,307
売上総利益	18,346	19,804
販売費及び一般管理費		
研究開発費	3,399	3,712
その他	13,968	14,625
販売費及び一般管理費合計	17,367	18,337
営業利益	979	1,467
営業外収益		
受取利息	13	17
受取配当金	69	69
受託研究収入	144	40
為替差益	306	—
持分法による投資利益	263	769
その他	143	221
営業外収益合計	941	1,119
営業外費用		
支払利息	75	67
売上債権売却損	4	5
為替差損	—	453
その他	62	46
営業外費用合計	143	573
経常利益	1,777	2,013
特別利益		
固定資産売却益	47	17
特別利益合計	47	17
特別損失		
固定資産除却損	51	26
投資有価証券評価損	—	50
特別損失合計	51	77
税金等調整前四半期純利益	1,774	1,953
法人税、住民税及び事業税	470	533
法人税等調整額	△77	191
法人税等合計	392	724
四半期純利益	1,381	1,229
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,381	1,229

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,381	1,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	32
繰延ヘッジ損益	△37	△1
為替換算調整勘定	198	△323
退職給付に係る調整額	157	194
持分法適用会社に対する持分相当額	△103	△83
その他の包括利益合計	113	△181
四半期包括利益	1,494	1,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,494	1,048
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,774	1,953
減価償却費	1,320	1,452
のれん償却額	184	184
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23	△194
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	17
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△118	△9
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	28	67
固定資産除売却損益 (△は益)	3	9
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	50
受取利息及び受取配当金	△83	△86
支払利息	75	67
売上債権売却損	4	5
売上債権の増減額 (△は増加)	6,905	6,330
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,195	△7,447
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,495	△108
その他	2,508	1,657
小計	3,949	3,950
利息及び配当金の受取額	87	93
利息の支払額	△78	△67
売上債権売却による支払額	△4	△5
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△724	△1,008
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,229	2,963
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△685	△1,091
有形固定資産の売却による収入	57	27
無形固定資産の取得による支出	△2	△48
子会社株式の取得による支出	—	△70
その他	△23	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△653	△1,134
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△69	△2,138
長期借入れによる収入	—	4,000
長期借入金の返済による支出	△2,140	△3,000
社債の償還による支出	△288	△255
配当金の支払額	△434	△584
その他	△194	△189
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,127	△2,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	115	△352
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△436	△691
現金及び現金同等物の期首残高	9,813	9,261
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,377	8,570

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS16号「リース」の適用)

当社グループは、第1四半期連結会計期間の期首より、日本基準を採用する当社および国内子会社ならびに米国基準を適用する米国子会社を除き、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則すべてのリースについて資産および負債を認識することといたしました。

なお、本基準の適用による当社グループの四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,040	7,367	8,314	46,722	—	46,722
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	31,040	7,367	8,314	46,722	—	46,722
セグメント利益又は損失 (△)	△105	2,049	1,095	3,039	△2,060	979

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△2,060百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,060百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,690	11,155	8,266	51,112	—	51,112
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	31,690	11,155	8,266	51,112	—	51,112
セグメント利益又は損失 (△)	△436	3,199	836	3,599	△2,131	1,467

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△2,131百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,131百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。